

まちのトピックス

市民栄誉賞の創設

みちした みさと

道下美里選手へ史上初の太宰府市民栄誉賞が贈られました！

9月27日、東京2020パラリンピック競技大会女子マラソン（視覚障害T12）で見事金メダルを獲得された道下美里選手へ、史上初となる太宰府市民栄誉賞が贈られました。

この賞は、コロナ禍のなか市民に明るい希望と活力をあたえる素晴らしい功績をあげられた道下美里選手の栄誉を称え、市民の皆さんと共に喜びを分かち合うため、この度、新たに創設されたものです。

表彰式で道下選手は、「多くの市民の方の応援や励ましがあって金メダルという成績を残すことができた。今後はスポーツで活力を与える選手になり障がいがある人も障がいがいなく共に輝ける地域づくりへ貢献したい」と述べられました。

多くの感動と勇気を与えてくださりありがとうございました。道下選手の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



市民栄誉賞の表彰を受ける道下選手



取材に答える道下選手と楠田市長

長寿のお祝い

敬老の日に100歳の方のもとを訪問

9月20日の敬老の日に、本市では、対象となる高齢者に対して、敬老の意を表し、長寿を祝福することを目的として、88歳・99歳の皆さんに祝品、100歳の皆さんに祝金を贈呈しました。

本年度は、88歳が328人、99歳が30人、100歳が21人、最高齢は107歳でした（6月30日現在）。

代表して100歳を迎えられる秋山晴見さんのもとを楠田市長が訪問し、直接お祝い状をお渡ししました。長年にわたり社会で活躍され、ここに百寿を迎えられることに敬意を表しお祝いの言葉をお伝えしました。



秋山さんにお祝い状をお渡しする楠田市長

市民の貢献

マスク2万枚の寄附に感謝状お渡し

9月19日、市へマスク2万枚の寄附をいただいた稲生香代さんへ、市から感謝状をお渡ししました。

稲生さんは、以前、複数の新型コロナウィルスワクチン接種会場に従事した経験があり、本市の対応が素晴らしいと感じ、この縁を大切にしたい気持ちから、今回の寄附をいただくことになりました。

また、こうした背景に、ご自身のお子さんとコロナ禍やワクチン接種について話し合ううちに、お子さん自ら、受け取った特別給付金を活用して頑張っている自治体に寄附しようと発案があったということです。

コロナ禍が続く、世の中に閉塞感が漂うなか、大きな勇気と励みを与えていただきました。



感謝状を贈られた稲生さんと楠田市長

国際交流

駐福岡大韓民国総領事館による

「九州の中の韓国探し～太宰府～」が開催されました。

9月29日に駐福岡大韓民国総領事館主催の韓国とゆかりの地を訪れる歴史探訪ツアーが開催されました。通常であれば、一般の人も参加して、日韓民間交流の場となるのですが、今回はコロナ禍のため総領事館職員および関係者の皆さんが太宰府を訪れ、大宰府政庁跡や水城跡などを巡りました。

当日の様子は総領事館のSNSに掲載され、韓国の多くの人に向け太宰府の魅力を発信していただきました。

また、本市と忠清南道扶餘郡（大韓民国）とは姉妹都市の関係にあり、令和4年には姉妹都市承継締結10周年という節目の年を迎えます。



総領事館の皆さんと楠田市長



水城跡視察の様子